

放送日 令和3年12月1日（水）

担当者 市長 上野 正三

おはようございます。市長の上野正三です。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症についてであります。9月末に緊急事態宣言が解除されてから、新規感染者数は少ない状態で推移しておりますが、未だ収束の目途は立っておらず、依然として予断を許さない状況が続いております。

職員の皆さんにつきましては、長引くコロナ禍において、市民の皆さんの命と生活を守るため、ワクチン接種や経済対策等をはじめとした各種施策に力を尽くされていることに、心から感謝を申し上げます。

私の好きな言葉に、「春風（しゅんぷう）を以て人に接し、秋霜（しゅうそう）を以て自ら肅（つつし）む」というものがあります。

人と接するときは、春の風のような暖かさで接し、自分の行動には秋の霜のような厳しさをもって臨むという意味です。

感染者数の減少により、規制も緩和されてきておりますが、市民の皆さんも職員の皆さんもコロナへの対応にお疲れのことと思います。

このような時だからこそ、皆さんのやさしさで周りの皆さんを包んであげてください。コロナ禍と呼ばれるこの時代も、きっと乗り越えていきます。

さて、今年度から、多くの市民の皆様とともに策定した「第6次総合計画」がスタートいたしました。

「自然と創造の調和した豊かな都市」を、まちづくりのテーマとして掲げ、「希望都市」「交流都市」「成長都市」というめざす都市像の実現に向け、また、ボールパーク構想や駅西口周辺の活性化をはじめとした各種施策を推進し、にぎわいと活力にあふれる輝くまちを作るためには、職員一丸となって力を合わせていく必要があります。

2023年3月には、ファイターズの新球場「エスコンフィールド北海道」がオープンいたします。

早いもので、2018年11月に建設が発表されてから3年が経過し、来年12月には球場が完成する予定です。また、話題の新庄監督も就任し、オープンへ向けての勢いが増してきました。

北広島市も地価の上昇率が全国で上位にランクインするなど、注目度が上がっております。

注目されると、良いことも悪いことも目立ちます。「好事魔多し」という諺もあります。より気を引き締めて日々の業務にあたっていきましょう。

放送日 令和3年12月2日(木)

担当者 副市長 水口 真

おはようございます。副市長の水口 真です。

朝のスピーチが再開され、遅くなりましたが今年度に私が掲げた仕事の目標をお話させていただくことができます。

大きな目標は「にぎわいと活力にあふれる輝くまちづくり」を掲げています。この目標に到達するために「未来のために今できる組織改革」、これを中目標としています。コロナ禍により社会環境や価値観が大きく変容する中であって、持続的かつ安定的な行政運営のためには、社会の変化を読み取り、変化に対してしなやかに適応する組織である必要があります。

こうした組織を目指す上での課題は、3月に策定しました「きたひろ未来創造ビジョン2021・未来創造プラン」に改革項目として掲げています。今年度の実行目標は、この改革項目にも通じる3つの課題に取り組むこととしています。

1つが戦略を推進する「マネージャー制度」の創設です。民間の知見を活用し、施策の立案・実施のスピード化を図ると同時に民間の目を入れることで目標に対する成果を測定する組織風土を作ることが目的です。この取り組みは、先般、行政管理課が北広島DX（デジタルトランスフォーメーション）検討プロジェクトチームを創設し、一つ形を作っていただきました。民間企業の最先端で活躍される方をアドバイザーとして配置しています。市役所内の組織の枠を越えた横断的組織による課題解決や若手職員に政策立案の機会を与えることでCX（キャリアトランスフォーメーション）にも期待ができ、新しい制度として育ててまいります。

2つめが「内部統制」への取り組みです。私はこれを「誤りを繰り返さない組織づくり」と定義します。今年度はその前提であるコンプライアンスの推進に取り組めます。「市民から信頼される市政」を進めるためには、市民からの信任を受け業務に当たる組織の責任として、組織が遵守するコンプライアンスの方針を市民等にわかりやすいものとして作り・明示し・発信することで、コンプライアンスを遵守する組織風土を作ります。

3つめが「人事評価制度」の充実です。人事評価制度は試行されてから10年以上が経過しています。それぞれの職場において前向きな制度として受け取られているのでしょうか？「運用の壁」に当たっているように感じます。人事評価制度が仕事への動機づけ、能力開発につながる制度となるよう運用の充実に取り組めます。

今年度は既に終盤を迎えています。この時期に公表することは達成度の低さが明らかとなり、恥ずかしい限りですが、終盤の頑張りにつなげてまいります。

最後になりますが、市が何を考え、どう作戦を立てて、自治体として生き残ろうとしているかを理解することは、仕事をするうえでとても大切なことです。今後10年間の指針となる北広島市総合計画【第6次】と「きたひろ未来創造ビジョン2021・未来創造プラン」にもう一度目を通して下さい。

放送日 令和3年12月3日（金）
担当者 教育長 吉田 孝志

ご来庁いただいています市民の皆様、市職員のみなさん、おはようございます。
教育長の吉田孝志です。

さて、11月12日に、教育委員会として今年度の一大事業でもあった「小中一貫教育全国サミット」を無事に終えることができました。新型コロナウイルスの影響を考慮し、デジタル開催としたところではありますが、全国から約1000件を超える視聴参加申し込みがあり、本市の取組および全国の先進事例等を積極的に発信することができたものと考えています。

なお、市民限定で有観客とした全体会では、小・中学校の子どもたちが授業の中で取り組んでいます空手演武とダンスを最高の形で表現し、小中一貫教育の取組成果として見事に発信をしてくれました。感謝であります。

本市では、平成30年度から全市一斉に、中学校区ごとに「小中一貫教育」を導入しました。私は、その年の4月に、新年度を迎えるに当たり、教育委員会事務局職員および学校の先生方に、『一粒万倍』というお話をしました。それは、「小中一貫教育という『一粒の種』を本日、植えました。それぞれの立場で、水を遣り、手しおにかけて花を咲かせてほしい。そして数年後には、子どもたちが成長した姿という形で『万倍の収穫』を得ましょう。」という呼びかけであった訳であります。

今回の全国サミットを通して、大きな成果・収穫を得ることができたものと考えています。今後に向けては、小中一貫教育の日常化、一般化を図り、その定着を図ってまいりたいと考えているところであります。皆様方のご理解とご支援に深く感謝するところであります。

新型コロナウイルス感染症の拡大はまだまだ予断を許さない状況にあります。引き続き緊張感をもって、「マスク着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」など基本的な感染症対策を続けてまいりましょう。今日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 令和3年12月6日（月）
担当者 企画財政部長 川村 裕樹

おはようございます。企画財政部長の川村裕樹です。

先日、市役所職員の年齢構成を眺めていました。50歳以上が28%、40歳代が23%、30歳代以下が49%となっていました。

私は50歳以上に分類されますが、この割合を見ると職員の半数以上が20年、30年とこの先のまちづくりを担う構成となっています。

市民説明会や議会では、良く若い人たちの意見をまちづくりに反映してはと問われます。もちろんその意図はこれからを担う人たちへの期待が込められていると思いますが、それ以上に私が感じているのは現状に対する新しい発想が求められているのだと思います。

アイデアや新しい発想は、若い人に特化しているものではなく、我々の世代でも日頃からたくさんのアンテナを張っていればできるものだと思います。ここで大切なのはそれぞれの職位、職責をしっかりと認識して、前例がないことを言い訳にせず、様々な考え方を客観的に分析し、その効果を見極め判断、実行することだと思います。その考え方は政策的なことはもとより、日頃の事務改善やコンプライアンスにも通じるものだと考えます。

先日対談したある方が、ボールパークに求められる機能は「温故知新」だと話されました。新しい事を動かす際には、先輩が持つ経験と知見、若い世代の新しい発想、それぞれを融合させることで多くの人に求められる結果につながるものと私なりに理解しました。その融合する役目は我々の世代です。

北広島市は今大きなプロジェクトを進めています。これは決して「箱」をつくっているのではなく、そこから生まれる「できること」を生み出すきっかけとなります。

12月に入ってしまったいますが、私は自分の職位・職責を果たすべく20年後、30年後に中心となる世代の職員とたくさん話をしたいと思っています。機会がありましたらぜひお願いします。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月7日（火）
担当者 総務部長 中屋 直

おはようございます。総務部長の中屋です。

先日、令和4年度の行政組織と職員配置について、通知をさせていただきました。当初の段階においては、全体で18名の増員要求がありましたが、来年度につきましては、必要最小限の組織変更と人員配置とさせていただきました。

そのなかで、令和6年度を目標年次として段階的に組織を見直すことも示しておりますが、BP開業を大きな契機として、財務部門の集約化のほか、コンプライアンスやスポーツ関連の推進体制など、組織面から見た課題についても示させていただきましたので、これからの市役所はどうあるべきなのか、全庁的な視点も持ちながら、引き続き検討をお願いいたします。

さて、現在、この市役所本庁舎に約350名の正職員が勤務しておりますが、その約半分（48%）が35歳以下の若い職員です。2年前にもこのスピーチで話をしましたが、それから3%上がっており、職員の若返りがさらに進んでいる状況にあります。

今年度末には私も含め21名の職員が定年を迎え、また来年度から若い職員が入ってきます。世代交代がさらに進んでいきますが、親と子ほどの年齢差のある職員が共に市役所の一員として仕事を行っていく上では、世代間の縦と職場や職員間の横のつながり、人と人とのコミュニケーションが一番大事なことだと思います。

北広島市役所がこれからも「いい組織」「いい職場」「いい仲間」であってほしいと思います。そのために必要なもの、「挨拶」・「笑顔」・そして「思いやり」、この3つだと私は思っています。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月8日（水）
担当者 防災危機管理担当部長 米川 鉄也

おはようございます。総務部防災危機管理担当部長の米川鉄也です。私は、昭和55年、当時の広島町役場に奉職し、早いもので来年の3月に定年退職を迎えることとなり、これまでに退職された多くの先輩職員達から、まちづくりを託された立場から、次の世代に北広島市の成長を託す立場へと変わりました。

今日は、そんな立場から、まだまだ伸びしろが沢山ある主査をはじめ若い皆さんにお伝えしたいと思います。

まず、一つ目は「前へ」です。

これは職員一人一人が、仕事への姿勢やモチベーション、業務処理の向上など、今よりも前へ進もうよという意味です。自分にとって必要と感じた時には、是非一歩前へ踏み出す勇気を持ってくれると嬉しいです。

二つ目は、「正しく、速く」です。

私達の業務は、市民の生活に直接係るため、正しく処理することが最重要です。その上で、必要以上に市民を待たせることなく、効率よく早く処理することにも取り組み、職員としての資質を上げようよというものです。

「正しく、速く」を実践すると、今見ている景色が確実に変わります。自己有用感が満たされ始め、組織の中での自分の存在価値を自身で感じ取れるようになります。

最後は、将来の組織運営です。これからの組織は一時期の管理された集団から、個性集団に移り変わります。

そのため、組織の上に立つ人は組織マネジメントから個々へのコーディネート重視に視点を変え、それぞれの個性や考えに耳を傾けて聴き、尊重し、否定せず、気づきを促して輝かせてあげてください。

以上、これからの北広島市を皆さんに託します。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月9日(木)

担当者 道央廃棄物処理組合次長 棚田 吉浩

おはようございます。道央廃棄物処理組合の棚田吉浩です。

道央廃棄物処理組合では、千歳市、北広島市、長沼町、南幌町、由仁町、栗山町の2市4町のごみを広域処理するため、令和6年4月からの施設稼働に向けて、焼却施設を千歳市根志越地区に建設しています。

建設工事は昨年からはじめ、場内整地、軟弱地盤対策の盛土、造成工事が終わり、今年は地下部分の建築工事が順調に行われています。

組合では、新年度からの会計年度任用職員として、ボイラー・タービン主任技術者資格を持つ方を募集しています。皆さんの知り合いでそういう方がおられましたら、募集の情報を伝えていただければと思います。

組合の事務所は千歳市役所の西庁舎にあって、毎日、国道274号線の長沼マオイの丘までのまっすぐな道路と道央圏連絡道路で通勤しています。天気の良い日は、田んぼや畑をのんびりと眺めながら通っています。帰りはこの道に戻ってきますが、今時期はもう真っ暗でまわりの景色はまったく見えませんが、長沼町から北広島市の灯りが見えてきます。その中でも、ボールパークの工事照明は一つの塊となって見えてきます。日中は巨大クレーンが何本も並んで見える景色で、これも圧巻ですが、夜の照明群も何とも言えないものを感じています。

いま、ボールパークでまちは大きく変わろうとしています。きっと、市民の皆さんは大きな期待と変化に伴う小さな不安を持っていることだと思います。私は、このような小さな不安を少しでも減らせるよう「いつも、市民目線に立つ心構え」が必要だと感じています。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いていますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月10日(金)
担当者 市民環境部長 高橋 直樹

おはようございます。市民環境部長の高橋です。

本日のスピーチは、多様な性についてお話しをしたいと思います。市民参加・住宅施策課では、今年11月に市民3,000人を対象に多様な性に関する市民意識調査を実施し、現在集計作業を行っています。この調査から市民の皆さんの認知度などが見えてきています。

性的少数者の総称である「LGBT」そのものの認知度は、約6割の方が意味も知っているとの回答であったのに対し、その頭文字である「L」のレズビアンや「G」のゲイについては、約9割の方が意味も知っているとの回答となっており、まだまだ多様な性については、理解が進んでいない状況にあります。

皆さんは、多様な性についてどれだけ理解しているでしょうか。

性のあり方は、だれもが持っているもので、セクシュアリティと呼ばれ、主に4つの要素で成り立っています。

この4つの要素とは、一つ目は身体的特徴などによる性の「生物学的な性（からだの性と呼ばれるもの）」であり、二つ目は服装やしぐさ口調などにより外部に表現したい性の「性表現（表現する性と呼ばれるもの）」であり、三つ目は恋愛感情や性的な関心の対象となる性の「性的指向（好きになる性と呼ばれるもの）」であり、四つ目は自分が認識する自分の性の「性自認（こころの性と呼ばれるもの）」であり、このように各要素は様々であり、また組み合わせも様々ですので、一人ひとりの性のあり方は多様で、その広がり虹のようなグラデーションであると表現されています。

また、人間の性別は、男と女だけではありません。顔や性格が違うように多様性をもっています。誰もがありのままの自分らしく生きられる社会を実現するためには、お互いに様々な違いを認め合い、思いやりをもって協力しあうことが大切であるといわれています。

最後に、明日12月11日14:00から、市役所1階多目的室において、人権が尊重され、性別に関わりなく、その個性と能力が発揮することができ、誰もが生きやすい社会の実現に向けて、性の多様性への理解を深めることを目的として、「男女共同参画セミナー」を開催します。

今回は、「にじいろセミナー～みんなで考えよう多様な性～」と題し、にじいろほっかいどう事務局長の国見亮佑（くにみ りょうすけ）氏を講師にお迎えし、「LGBTとは。多様な性についての基礎知識など」について講演していただきます。どなたでも無料で、当日は託児もごございますのでお気軽にご参加ください。また、オンラインでも参加できますので、申し込み等については、市民参加住宅施策課にお問い合わせください。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月13日(月)
担当者 保健福祉部長 三上 勤也

おはようございます。保健福祉部長の三上勤也です。

職員のみなさんにおかれましては、PCR検査キット配布及びワクチン接種に関し、日常業務ご多忙のところご協力をいただいておりますことに、この場をお借りし感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日は「ひきこもり」についてお話したいと思います。

国では、仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態を「ひきこもり」と定義しています。

きっかけとしては、いじめ、失恋、成績の低下、就労の失敗などの挫折体験があります。ひきこもりは「病気」や「怠け」ではなく、様々な要因によって社会的な参加の場が狭くなり、自宅以外での生活の場が失われている状態のことをさします。しかし、その背景には統合失調症やうつ病、発達障がいなどが存在する場合も少なくなく、最近では、ひきこもりには多様な精神疾患が関与していることが指摘されるようになってきています。

2018年の国の調査によると、40歳から64歳までのひきこもりは国全体で約61万3千人とされ、その率を本市にあてはめると200人を超えることとなります。

大学卒業後、就職した会社になじめずに2年で退職し、再就職を目指すも、なかなか思うように行かず、アルバイトなどを続け、40歳を超え、親を頼りにせざるをえない日々に、今後のことを考えると不安で眠れず、明け方まで寝つけない。昼頃に起きて、また夜は眠れないという、昼夜逆転の生活が続き、自分を責め続け、挫折感や孤独感を強め、ますます社会活動に参加することが難しくなるという悪循環に陥っている人がいます。

ひきこもりが長期化し、子どもが中高年になり、年老いた親が働けなくなり、年金などの収入が僅かしかないことで、家庭が生活に困窮し、社会から孤立してしまう。こうした家族は、自ら声を上げづらく、親子が共倒れになってからようやく周囲に気づかれることもあります。

ひきこもっている人は、不安を克服し、自信を取り戻して社会とのつながりたいと願っていても、自分の力だけでは困難な場合が多いため、速やかに支援を開始し、状況に適した支援を継続することが必要です。

本市におきましても、高校を中退してから10年以上ひきこもっていた方が、祖母からの相談で支援機関につながり、相談員が何度も家庭訪問をすることで、一緒に買い物へ外出できるようになり、5年以上を経て、福祉施設の清掃業務に就いた例があります。

ひきこもっている人を家から出すことが、支援の最終ゴールではありません。ひきこもっている人が、どのような生き方を望み、そのために何が求められるかという視点から、個別の相談にきめ細かく対応しなければならないと考えています。新型コロナウイルスの影響により、職を失った方の今後の心配です。適切できめ細かい支援が受けられるよう、教育・医療・相談機関などの社会資源や人材と連携し、支援のネットワークを作る必要があると考えています。

新たな変異株であるオミクロン株の出現が報道されておりますが、その正体はまだ解明されていませんので、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月14日(火)
担当者 子育て支援部長 広田 律

おはようございます。子育て支援部の広田律です。

今日は北広島市子どもの権利条例について話したいと思います。この条例は、すべての子どもたちは幸せに生きる権利があり、子どもが夢と希望を持ち、幸せに暮らせるまちづくりを進めるため、平成24年6月に制定されたものです。条例では、子どもが成長していくために、特に大切な権利として「安心して生きる権利」「守り守られる権利」「健やかに育つ権利」「参加する権利」の4つを明記し、子どもは自分の権利が尊重されるのと同様に、他人の権利を尊重するよう規定しています。また、大人が子どもの権利を保障し、子どもの最善の利益のために、子どもの生活の場における権利の保障について「家庭における保護者の役割」「学び育つ施設における大人の役割」「地域における市民の役割」「市の役割」について規定しています。条例の認知度が中々上がらないという課題がありましたので、今年度はパネル展の実施や権利相談員の巡回訪問の拡大など新たな取り組みを進めて認知度の向上に努めています。この条例を初めて知ったという職員もいるのではないのでしょうか。ここでは制定の経緯など詳細は説明できませんので、ぜひHPの子育てサイトで条例本文を読み、子どもの権利について考えてみてください。本年4月時点でも制定自治体は全国で50しかないなか、当市は来年、制定から10周年を迎えます。わが街のこの取組みを私たち職員は誇りにし、すべての子どもが夢と希望を持って暮らせる街づくりのため、所管している子育て支援部だけではなく、他部署においてもこの条例を念頭に施策をすすめていただきたいと思います。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月15日（水）
担当者 子育て支援部次長 尾崎 英輝

おはようございます。子育て支援部次長の尾崎英輝です。今日は仕事の取り組み方について、普段私が考えていることをお話ししたいと思います。

皆さんは今の仕事にやりがいを感じていますか、楽しんでいますか。こんなことを聞かれるときっと多くの人が「楽しいなんて考えたことがない」とか「やりがいて言われてもな」と思うかもしれません。「最近の若い世代は」何て自分が年寄りになったみたいで言いたくはありませんが、公務員になりたくて市役所に入ったけど「自分には向いていない気がする」とか「やりたいことはこんなことじゃない」なんて考えている方が多いような気がします。私が入庁した時は先輩から「仕事なんて3年はやらないとわからない」と言われたものです。「石の上にも3年」という言葉があるように、昔は何をするにも辛抱はつきもので、みんながそれを自覚していたように思います。今はすぐに結果が求められ世の中に空虚感が漂い、何かつまらなく、つまらないからイライラしたり辛くなったりしています。それではどんなことをしたら、どんな仕事ならいいのでしょうか。私は結局、今やらなければいけないことを、与えられた仕事を本気でする以外ないのだと思います。公務員の仕事は全て理屈だっています。本気で仕事に取り組めば自分の仕事がどういう理屈で成り立っているのか見えてきます。理屈がわかれば仕事の意味、意義がわかってきて、さらに良くするための工夫も考えられるようになります。まずは、それぞれの場所で本気に取り組むことを意識してみてください。そうすれば、いつの間にか仕事や日々の生活が充実し周りからも評価されるようになるものと思います。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月16日(木)
担当者 建設部長 新田 邦広

おはようございます。建設部長の新田邦広です。

今日は、令和3年度土木学会選奨土木遺産に認定されました国道36号「弾丸道路」についてお話させていただきます。

土木遺産は、歴史的に国土や地域に貢献した土木施設を保存していくことを目的に、平成12年度からこれまで全国で473件が認定されております。

認定された弾丸道路は、国道36号の札幌から千歳までの区間であり、北広島市には、市道島松駅通線として現在の国道から旧島松駅通所に向かう道路として残っており、当時のなごりが窺えます。

弾丸道路の建設工事は昭和27年10月から始まり、道内外の15の建設会社が、総労働者約34万人、建設機械約250台を投入し、昭和28年11月までの僅か1年余で、総延長34.5kmの大工事を完成させました。当時の新聞は、「北海道土木史に金字塔」と最高の賛辞を贈っています。

弾丸道路と呼ばれるようになった理由には諸説あり、「弾丸のような突貫工事だった」「米軍の弾丸の運搬に使われた」「弾丸のように早く走行できる」などがありますが、明確な理由は判っておりません。

1年余という驚異的な速さの裏には、発注者の工区分けの工夫や各社の協力体制、本格的な機械施工の導入、更には、コンクリート舗装の代わりに当時としては画期的であったアスファルト舗装を採用したことによるものとされております。

その後、先駆的な技術基準としてアスファルト舗装は北海道から全国に広がりました。このことが今回認定された要因の一つにもなっています。

現代の技術をもってしても相当困難な工事といわれるものを、なぜ70年前にできたのか、そこには、新技術の導入と困難な工事をなんとしてもやり遂げようとするエンジニア達の熱く、強い意志があったからと言われております。

本市におきましても、大きなプロジェクトでありますボールパークの2023年開業に向け、周辺道路などの主要なインフラ整備は、あと1年余で完成させなければなりません。

ボールパークエリアで20を超える工事が輻輳しながら稼働する状況を見ますと、弾丸道路と何か重なるものがあるようにも感じております。

70年の間に技術は飛躍的な進化を遂げ、時代は変化していますが、携わる人たちの強い思いが一番重要なことに変わりはないと思います。

まだまだ越えなければならない課題があると思いますが、後世に引き継ぐ大切な財産として、また、ボールパークが持っている可能性を十二分に発信できる施設となるよう、一丸となって取り組んでまいりましょう。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月17日（金）
担当者 建設部次長 人見 桂史

おはようございます。建設部次長の人見桂史です。

私は土木事務所長の事務も取り扱っており、今日の天気予報は雪とのことなので今日は、北広島市の降雪と除雪についてお話をさせていただきます。

まずは降雪についてです。皆さんは北広島市内でも地区によって降雪量が異なることをご存知ですか。傾向としては西の里が一番多く、次に団地・東部次に大曲そして輪厚の順となっております。その年にもよりますが西の里地区の方が輪厚地区よりも1 m以上多い場合も有ります。

次に北広島市に雪が降るときの風向きですが、北北西か北西の風が吹く場合は、日本海で発生した雪雲が風によって北広島市に雪を降らせる確率が高くなります。逆に西風が吹く場合は、手稲山に雪雲がブロックされて北広島市にはほとんど雪が降りません。天気予報を見る際に雪だるまマークだけを見るのではなく風向きについても気にしてみると面白いと思います。

風向き云々の話をしましても降るものは降りますので、自然現象には抗えないところではあります。そこでほんの気休めですが土木事務所では以前から大雪や異常気象になった場合には、新たに除雪にかかわった職員のせいにしております。今年度は建設部長が新たにかかわっておりますので、皆さんもそのような視点で今年の雪の降り方にご注目いただければと思います。

最後に除雪についてですが、こちらはお願いになります。土木事務所では市内の生活道路を有する町内会を対象とした除雪に関する課題をまとめた除雪マップを作成しております。ホームページにも掲載しておりますので、ご自分のお住いの地区の除雪マップを確認していただき、課題が実行されていない場合は、土木事務所までご連絡をいただければと思います。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月20日(月)
担当者 経済部長 及川 浩司

おはようございます。経済部長の及川浩司です。

今朝は、市内の消費拡大や市内商工業者の販売促進、また、北海道胆振東部地震の影響で売上が減少した市内小売店などを応援することを目的に、経済部が平成30年度から取り組んでいる「きたひろラブローカル」についてお話しさせていただきます。さて、皆さんは時々「北広島には三井アウトレット以外に買い物をする場所や食事をする場所がない。」「働く場所が少ない。」といった言葉を耳にすることはないでしょうか。本当にそうでしょうか。たしかに隣町の札幌に比べれば、お店の数や種類では比較になりませんが、北広島にも北広島ならではの魅力のあるお店や、特色のある企業が数多くあることをご存じでしょうか。テレビの情報番組や情報雑誌では、視聴者や読者の数の関係で、どうしても札幌市内中心の話題になってしまいがちです。そこで、「きたひろラブローカル」では、市内のお店やメニュー、オリジナル商品などの写真をコメント付きで募集し、それを写真展という形で発表することにより、市民の皆様にも、「少しでも北広島のまちや魅力を知ってもらい、好きになって、誇りをもってもらいたい。」との思いで、毎年、フォトアルバムを作成し、商工魅力発信展を開催しております。今年度からは、インスタグラムやフェイスブックを利用した募集も行い、より多くの応募がありました。公式アカウントで既に公開しておりますので、「ハッシュタグきたひろラブローカル」で検索してみてください。今後はB P開業で、北広島を初めて訪れる人も増えることでしょう。皆さんも市役所職員であるならば、お客さんから「どこか美味しいお店知らない?」と尋ねられたときには「〇〇なんてどうでしょう。〇〇がお勧めですよ。」なんて言える店を2、3件は持っていてもらいたいと思います。そのためにも、是非、きたひろラブローカルで紹介した市内の色々なお店に実際に足を運んで下さい。

最後に、今年の北広島商工魅力発信展開催のお知らせです。12月18日から21日までの4日間はエルフィンパーク交流広場にて、また、23日から27日までの5日間は市役所5階市民ギャラリーにて、今回、市民やお店、企業の皆様から応募していただいた写真などを、数多く展示しておりますので、是非ご覧いただきたく思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう

放送日 令和3年12月21日(火)
担当者 水道部長 藤縄 憲通

おはようございます。水道部長の藤縄憲通です。

今日は、北広島市の「水道管」についてお話ししたいと思います。

今年の10月3日、和歌山市の「紀の川」にかかる水管橋の一部が崩落し、市内の4割近くに当たるおよそ6万戸が1週間にわたって断水するという事故が発生しました。この事故は、監視カメラで崩落の瞬間が撮影されており、「全国の水道管は老朽化が進行し、危険が放置されている」という見出しで広く報道され話題となりました。事故原因は調査途中ですが、専門家からは水道管を支える部材の老朽化が指摘されています。

本市には和歌山市のようにボトルネックとなるような水管橋はありませんが、水道管の老朽化は徐々に進行しており、昨年度末の老朽化率は18.9%で、全国平均より少し高めとなっています。この老朽化率というのは、法律で定められた耐用年数の40年を超えている水道管の割合をいいます。しかし、耐用年数を過ぎると水道管が直ちに壊れるという訳ではなく、例えば自動車の法定耐用年数は6年とされていますが、6年で車がいきなり壊れる訳ではなく、5年くらいから徐々に故障が増えてきて、10年近くなると買い替えを検討されるのが普通だと思います。

しかし水道管は地下に埋まっているため、車のように傷み具合を確認しながら更新時期を判断することができません。そのため、本市では布設後40年経過後から60年までの水道管を毎年4km程度計画的に更新することにしてはいますが、このペースで更新を進めると、市内の水道管をすべて更新した時に、一番古い水道管はすでに更新対象となり、エンドレスで事業を実施することになります。しかし、このような地道な更新事業の積み重ねによって、市民が安心して、いつでも利用できる水道は保たれていることをご理解頂きたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月22日（水）
担当者 会計室長 櫻井 洋史

おはようございます。会計室の櫻井です。

今日は12月22日…コロナ渦以前であれば、当たり前のように忘年会を行っていた時期です。最近、いわゆる「飲みにケーション」不要論が全体の6割を超えていると報道されていました。共通の話題も少ない違う世代の人たちとの飲み会が楽しくないのは理解できますので当然の結果かなと思います。

私は会計課の奥に席があることから、伝票等を持ってくる職員を多く見かけます。大半が若手職員のせいもあり、大変申し訳ないのですが、ほとんどの方の顔を見ても名前がわかりません。

私が入庁したころは、それぞれの職場で歓送迎会や秋の観楓会、新年会などの飲み会が定期的に行われていたほか、役所全体で休日に運動会が開催されたり、冬にはバスを数台借り上げて、ニセコなどに1泊のスキー旅行が行われるなど、飲み会以外でもいろいろな催しが行われていました。このような行事の開催だけが原因ではないかもしれませんが、配属された部署以外の多くの先輩達とも、親しく話ができる人間関係を築くことができ、当時はほとんど全職員の顔と名前を容易に覚えることができたように思います。

半ば強制参加での飲み会や催しが当たり前だった時代は、コロナ渦とともに終わりを迎えましたが、仕事を円滑に進める上で、上司や同僚との相互理解を図ることが重要であることに変わりはありません。個人の生活を充実させていくことは重要ですが、飲み会以外のあらゆる機会を捉え、職場内の人間関係を広く構築していく努力を職員全員が行ってほしいと思います。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月23日(木)
担当者 議会事務局長 砂金 和英

おはようございます。議会事務局局長の砂金和英です。

議会事務局は、会議や各委員会の運営に関する事務を始め、議会活動を市民の皆さんにお知らせする議会広報の発行、会議録作成、議長及び副議長の秘書業務など市議会における一切の事務を行っています。本会議で議決されたことがその後の市政運営につながりますので、選挙で選ばれた市民の皆さんの代表である議員の方々の近くで、市の課題や新たな施策など目の当たりにしながら仕事ができることは、日々、貴重な経験を重ねていると感じております。さて、本市には22名の議員がおり、それぞれに市政に対する考えや取組みがあり、また、議員の方々に支持する一票を投じた市民の皆さんがいます。議会では、質問時間のルールなどもあり、発言の経緯など詳しく知ることは叶いませんが、議会事務局におりますと議員の方々が、議場の外で、市民の皆さんにとって住みやすく、より良いまちを目指し、思想信条を問わず、一人であっても、多人数であっても、相談や要望などに丁寧に多くの時間をもって寄り添う姿を窺い知ることができます。一方で、市民の皆さんと議員の方々からは、私たち行政、とりわけ暮らしに一番近い市町村に対しては、日頃からどの職員に対しても、人に寄り添った仕事ができるものと期待されますし、反面、期待に応えられずお叱りの言葉を受けることもあると思います。私は幾つものお叱りを受けてきました。窓口での仕事では個々への対応が中心ですが、その先には同じことを思う市民の皆さんが繋がっているでしょうし、思いもよらない考え方があるかもしれません。議員の方々の姿から、声を聴くことの大事さについて学ぶ日々が続いております。

新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月24日(金)
担当者 監査事務局長 安田 寿文

おはようございます。監査委員事務局長の安田です。

監査委員事務局は、市長部局より独立した執行機関として、第三者の立場で、年間を通じて様々な監査、検査、審査などを行っています。その中でも、全部局を対象として、実施する定例監査については、11月から前期分にあたる12部局の監査を実施し、担当部局の職員の協力のもと、先週無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。

さて、職員の皆さんは、日々、市民生活に欠かせない様々な行政サービス業務を行っており、また各種計画に沿って、さまざまな施策を実施し、成果を上げています。

その業務を行う上では、必ず規則、規程などによる、一定のルールに基づき事務が行われることとなります。この定められた規則などに基づき、業務を適正に行うことで、市または職員は市民からの信頼を得ることができています。それゆえに、ほんの些細な事務の誤りから、市全体の信頼を失わせる可能性もあります。

監査指摘で、「これぐらいはいいだろう」と思われる内容を指摘されることもあるかもしれませんが、この「このぐらいは」という考え方が、今後の重大なミスにつながる可能性になりうる一番危ない考え方です。

監査は、違法や不適切な事務の指摘にとどまらず、指導にも重点を置いて実施しており、市の行政の適法性や妥当性などの保障を期するものとしています。

人間だれしも、指摘されることは、気持ちの良いものではありませんが、指摘する側の私たちも同じ思いでありますので、「監査からの指摘を受けないぞ」との思いを持って日々業務にあたってもらいたいと思います。

1月からは後期の定例監査が実施されますが、対象部局の職員におかれましては、ご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月27日（月）
担当者 教育部長 千葉 直樹

おはようございます。教育部長の千葉直樹です。

サービスと価値について話しをしようと思います。

一般的に企業は、お客様に商品やサービスを提供して利益をあげ成り立っていますが、自治体ではこのサービスにあたるものとして教育や社会資本整備、社会保障・扶助など生活の根幹的な領域を法律や制度、政策事業により提供しており、利益は市役所ではなくその瞬間から時には長い年月をかけて市民に享受されます。仕事に慣れてくると単純作業になってしまいがちで、それでも商品・サービスが行き渡れば商売として成り立つかもしれません。しかし、企業は競合相手がいるので生き残るために商品やサービスにプラスされる価値を付加しています。つまり、市役所で言うお客様となる市民の方へ何かプラスの価値を提供できれば、同じサービスを提供するにしてもそこから信頼関係ができてくるのではないのでしょうか。市の政策や事業の全てに納得をいただくのは簡単ではありませんが、私たちが提供する多くのサービスに気持ちを込めて少しでも価値を感じてもらえるよう取り組みたいと思います。さて、ボールパークの建設も順調に進み異次元の巨大な建物があらゆる方角から視界に入り、完成が待ち遠しくなってきました。北海道日本ハムファイターズ新庄ビッグボスは13条の常識に囚われない公約を発表し、記者会見以来話題にならない日はなく野球ファンであるなしに関わらず皆が期待を寄せています。この公約は、仕事への取り組みにも参考になると感じます。私たち職員も我らがビッグボス上野市長のもと、北広島市民のために皆が同じベクトルに向かって一致団結して業務にあたっていきましょう。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

放送日 令和3年12月28日(火)
担当者 教育部理事 後藤 章夫

おはようございます。教育部理事の後藤章夫です。私は、この3月まで32年間、石狩管内の小学校に勤務しておりました。この4月から教育部ということで、違う立場から学校とかかわっております。これまで毎日見ていた、子どもたちの元気な姿を見ることができず、寂しい思いがありますが、職員の皆さんの熱心な業務に当たる姿を見て、自らを奮い立たせています。はじめての行政職で、戸惑うことも多く、教育部のみなさんに助けてもらっていることが多いのですが、学校に勤務しているときと同じことを心がけて勤務にあたっています。

まず、笑顔と元気な挨拶を心がけています。学校では、不機嫌そうに登校してくる子もいました。寝起きが悪かったのか、朝からお母さんに叱られたのか、挨拶してもかえってこなかったり、表情が暗い子もいたりしました。でも、毎日顔を合わせ、努めて明るく挨拶をしている内に、少しずつ打ち解けて、話をしてくれるようになります。挨拶は人と人のつながりの基本、大きな力があります。できれば日本ハムファイターズの新庄監督張りの明るい笑顔を心がけたいと思います。

次に想像力と行動力。市役所にはたくさんの市民の方がご自分の目的を達成するためにいらっしゃいます。市民の方の思いや願いを想像し、自分にできることを考え、そして素早く行動にうつす。思いやりのある対応を心がけます。

最後に信じることを大切にします。自分を信じ、仲間を信じ、組織の力を信じる。そして、コロナ禍が収束し、明るい未来を迎えることを信じ、業務に精一杯あたります。本日で御用納めになりますが、気を緩めることなく業務に当たります。新型コロナウイルス新規感染者数は減少が続いておりますが、「マスクの着用」や「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。